

## 18日 土曜

### 箴言

19:1 貧しくても誠実に歩む者は、唇の曲がった愚かな者にまさる。  
19:2 たましいに知識がないことは良くない。急ぎ足の者は罪に陥る。  
19:3 人の愚かさは自らの道を滅ぼす。その心は【主】に向かって激しく怒る。  
19:4 財産は多くの友を増し加え、貧しい者はその友からも引き離される。  
19:5 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者も逃れられない。  
19:6 高貴な人の好意を求める者は多い。だれもが、贈り物をしてくれる人の友となる。  
19:7 貧しい者は自分のすべての兄弟たちに憎まれる。友人が彼から遠く離れるのは、なおさらのこと。彼がことばをもって追い求めても、彼らはいない。  
19:8 良識を得る者は自分自身を愛する者。英知を保つ者は幸いを見つける。  
19:9 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者は滅びる。  
19:10 愚かな者にぜいたくな暮らしはふさわしくない。奴隷が君主を支配するのは、なおさらのこと。  
19:11 人に賢明さがあれば、怒りを遅くする。その人の栄誉は、背きを見過ごすことにある。  
19:12 王の激しい怒りは若い獅子がうなるよう。しかし、その好意は草の上の露のよう。  
19:13 愚かな息子は父にとって破滅。妻のいさかい好きは、滴り続ける雨漏り。  
19:14 家と財産は先祖から受け継ぐもの。賢明な妻は【主】からのもの。  
19:15 怠惰は人を深い眠りに陥らせ、怠け者は飢える。



19:16 命令を守る者は自分のたましいを保ち、自分の道を蔑む者は死ぬ。

19:17 貧しい者に施しをするのは、【主】に貸すこと。主がその行いに報いてくださる。

「歩む者」、「急ぎ足の者」と、私たちの歩みに警戒を与えています。誠実であること、そして知識を持ってあせらないで進むことが大切です。

「愚かさ」は他人のためにならないだけでなく、自分自身の道を滅ぼすことを知るべきです。「財産は...」とあるのは、この世の現実を言っています。私たちは現実を理解した上で、神様の力ある権威と真理によって生きます。「高貴な人...」「貧しい者...」というのも同様です。

「良識」や「英知」は人や社会のためでもありますが、何よりも「自分自身を愛する」ことになるほど、本人のためでもあります。「幸い」を見つけることができます。

賢明な人はすぐに怒ることはしません。何があっても最善の主のみこころに聞きましょう。頭の回転を速くして、相手を遣り込める必要などないのです。

「家と財産」は物であって、それは人からもたらされることができません。しかし「妻」は人であって、人を変えたり出会わせてくださるのは主のみわざでしかできません。主に依り頼みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

